

▲好評を博したる新劇 今年の倫敦季節に同地の劇場に於て稀有の好評を博したる新劇はアルフレッド、ストロ氏の作る「グレードの名譽」と題するものにして其筋の概略はツヨージ、アレキサンダーと云ふ米國の一富豪が年若き一美人の歡心を買ひて終に結婚を爲すに至り最期其婦人は富豪 生活を愉快に感じ夫を助けて富の増殖を計りたるも其後夫と共に巴里に赴きルロッドと云ふ美術家の宅に招かれて客となりてエリ種々の錯雜したる事情を生じ最後に其婦人ばルロッドと脱走しグレードは落膽して米國に歸り婦人の信すべからざるを知りて専心金儲に其生涯を送ると云ふにありて各國に於ける最近の人情を極めて巧みに描きたるは喝采を博したる所以なりと

決斷力が鈍い

高島米峰

婦人の多數は男子に比べて餘程決斷力が鈍い。善く言へば周到で微細の點に迄氣がつくから自然決斷に時を要するのであらうが、兎に角決斷力の鈍いのは當に自分を損する丈けでなく、他人に迷惑をかける事が多くない。或小間物屋の番頭さんが言には「イヤもう、とても堪りませぬ。商はアキナホ（厭きない）だ、これが自分の仕事だと考へ直しますからこそやつて参りますもの、時には心からイヤになることもございます。男のお客ならこちらの方がお似合で遊ばすとお爲によるしうございます」とか申せば、ズンドク片がつきますが、御婦人力

と来ては僅か二錢か三錢の替一本お求めになるにも、まづ五六十錢位の所まで、順々に御覽になつて、あれだ、これだ、高い、安い、チヤニツチにしやう、イヤ待てお呉れ、こつちの方がどうかしら、など漸くお話が纏まつて代金はと申すと、五圓か十圓の札をお出しになる、二錢三錢の品を買つて頂いて、まるで只で兩替をして上ばるやうなものなものです、それもマアよいとして、お釣を渡して送り出しますと、一二時間たつてヒョクリやつてお出でになり、「ゴツキネ、取つていッたんですが何だか母が面白くないッて申しますからあつちのと取り替へて下さいナ」などいふことは、殆ど普通になつて居ります之ては連も商賣にもなりませんのです時々愚痴を溢すこともございます。」

戒程之では堪るまい。此一事に見ても婦人の決斷力の鈍いのが如何に他人に迷惑をかけるか了解るではないか

(愛國婦人)

